

- ・ 営業外費用 上記③ + ④ + ⑤ = 3, 109
- ・ 特別損失 上記⑥ = 36, 240

貸借対照表上の貸倒引当金

- ・ 流動資産：上記※（１）①～③の合計 = 7, 487
- ・ 固定資産：上記※（１）④～⑥の合計 = 39, 241

解説の計算は、読みやすさを優先したが、実践では破産更生債権等→貸倒懸念債権→一般債権の順で貸倒引当金を計算すると混乱が軽減する。

（２）賞与引当金は計上済み

（３）退職給付引当金の計上

（借） 退職給付費用	40,252	（貸） 退職給付引当金	40,252
① 勤務費用	35, 180		
② 利息費用	$282,000 \times 3\% = 8,460$		
③ 期待運用収益	$83,000 \times 4\% = 3,320$		
④ 数理計算上の差異			
年金資産の見積額	$83,000 + 3,320 = 86,320$		
年金資産の実際額	87, 000		
数理計算上の差異	$87,000 - 86,320 = 680$ （有利差異）		
⑤ 数理計算上の差異の当期費用の減額処理	$680 \div 10 \text{年} = 68$		
⑥ 当期退職給付費用	$35,180 + 8,460 - 3,320 - 68 = 40,252$		

問 10 税金に関する事項

（１）法人税等

（借） 法人税等	182, 300	（貸） 仮払金	89, 600
		未払法人税等	92, 700

法人税等の損益計算書の表示科目は「法人税、住民税及び事業税」と省略しないで記載する。